

中小企業家同友会全国協議会第49回定時総会アピール

中同協設立50周年（2019年）に向けて 全国5万名会員を達成しよう

私たちは、7月6、7日の2日間、「世界を見据え、地域に生きる～中小企業と同友会の強みを活かして」をスローガンに掲げ、中同協第49回定時総会を愛知で開催しました。

日本の社会・経済は今、人口減少、経済の低成長、人材不足など多くの課題に直面しています。特に地域社会・経済は問題が顕在化しており、地域の担い手である私たちの使命と責任は大きく、同友会を地域のすみずみに広げていく必要があります。

1957年に日本中小企業家同友会が70名で発足して以来、私たちは「日本経済の真の担い手は中小企業である」との自覚と誇りを胸に、「三つの目的」を掲げ、「自主・民主・連帯」の精神にたち、「国民や地域とともに歩む」姿勢を貫きながら、その創造的実践によって、時代とともに発展してきました。そして創立60周年を迎えた本年、47全ての都道府県・1,494市区町村に組織が広がり、会員数は4万6,000名を超え、5万名を展望できるまで発展しました。

2019年中同協設立50周年を2年後に控え、私たちは、同友会企業一社一社が地域の砦としての自覚を高め、今こそ新たな時代を切り拓くリーダーシップを発揮するために、以下の取り組みを強めましょう。

第一に、仲間づくりの輪を広げ、全国で5万名の達成を確実にしていきましょう。

第二に、同友会型会員企業をすべての地域に増やしていきましょう。

第三に、すべての同友会、すべての支部・地区で、増える・強い組織づくりに取り組みましょう。

全国津々浦々で会員増強と組織強化に取り組み、全国の同友会が力を合わせて中同協設立50周年5万名会員を達成することを誓いあい、本総会のアピールとします。

2017年7月7日
中小企業家同友会全国協議会
第49回定時総会